



東京都立 日比谷高等学校

■学校長／武内 彰
■創 立／明治11年
■生徒数／964名(男499名、女465名)

沿革

明治11年、東京府第一中学として創立。昭和4年、現在の千代田区永田町に移転。

昭和25年に東京都立日比谷高等学校と改称し、男女共学制実施。東京都教育委員会より平成13年に進学指導重点校として、平成27年に東京グローバル10として指定され、平成19年に文部科学省よりスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）に指定される。

特色ある教育

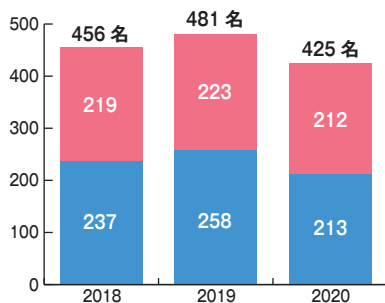
- (1) あらゆる科目をまんべんなく学び、幅広い教養の土台をつくるカリキュラム。
全員が地歴・公民、理科の全分野を履修。3年次で文系・理系の必修選択。
- (2) 45分1日7時間授業の実施で、週5日間の授業を確保。2時間続きの100分授業や8・9時限のSSH課題研究や理数探究も組み込み中身の濃い授業。
- (3) スーパー・サイエンス・ハイスクールは平成19年より3期15年間指定となる。
最先端の研究者や科学技術に直接触れることにより大いに啓発される。
- (4) 進学指導重点校としての取り組み。
土曜講習、長期休業中の講習の充実。進路指導の充実。授業評価と授業改善。

学校行事

- 【4月】 遠足
- 【5月】 体育大会
- 【6月】 合唱祭
- 【7月】 臨海合宿・夏山キャンプ
- 【8月】 海外派遣研修…西海岸・ハワイ・ボストン・ニューヨーク・ニュージーランド
- 【9月】 星陵祭(文化祭)
- 【12月】 柔剣道大会(2年男子)
スキー教室
- 【3月】 修学旅行(2年)…京都・奈良方面
球技大会(1・2年) 韓国派遣研修

過去入試データ

■受験者男女比 ■男子 ■女子



入試結果のデータ一覧（応募・受験・合格）

年度	募集者数			応募者数			受験者数			合格者数			実質倍率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2018	132	122	254	313	243	556	237	219	456	144	129	273	1.65	1.70	1.67
2019	133	121	254	329	259	588	258	223	481	142	128	270	1.82	1.74	1.78
2020	132	123	255	296	252	548	213	212	425	142	133	275	1.50	1.59	1.55

※上記は一般入試の数値です。



校舎写真▲



MAP▲

交通

東京メトロ永田町駅より徒歩5分。赤坂見附駅より徒歩5分。国会議事堂前駅・溜池山王駅より徒歩5分。

※平成27年、新校舎・新グラウンドが完成しました。

▶ 入学者決定方法（2020 年度）

推薦入試（定員の20%）

募集定員	配点	
男子32名	調査書点 5段階×9教科× $\frac{450}{45}$	450点
女子30名	集団討論・個人面接点	200点
合計62名	小論文点	250点
合計		900点

一般入試（定員の80%）

募集定員	配点	
男子132名	学力検査100点×5教科× $\frac{700}{500}$	700点
女子123名	調査書点(主要5教科+技能4教科×2)× $\frac{300}{65}$	300点
合計255名	合計	1000点

▶ 2020 年度 入試問題分析

英語 昨年度同様、リスニング・対話文読解・長文読解・英作文の4題構成であった。②は語数約1200語の「初詣の着物選び」に関わる対話文。会話の流れに合うように適する語句を選ぶ問題が2問、質問に対する答えを、本文の内容に照らして選択する問題が2問、本文中の語句の説明として適切なものを選択する問題が1問、会話の流れに沿って空所に入る発言を15語以上の英語で書く問題が1問、内容一致問題が2問の計8問であった。③は語数約1100語の「ハワイの歴史」に関する論説文。本文の流れに合うように、適文を選択する問題が1問、語句整序問題が1問、文を整序する問題が1問、25語以上の英語で手紙を完成させる問題が1問、本文中の語句の説明として不適切なものを選ぶ問題が1問、内容一致問題が2問の計7問であった。④はイラストに描かれた状況を説明したうえで、それについての考えを50語以上の英語で書く問題であった。

「聞く」「読む」「書く」の3つの力を試す問題構成であるが、リスニングを除いた②～④をほぼ40分で解かなければならず、相当な速読力が要求される。加えて、英作文は②と③にも出題されており、その全てが対話文の流れ、長文の内容の理解、事実の正確な描写を前提として書くもので、相当難度の高い問題である。

数学 今年度の出題も例年通り、大問4題・小問14問の構成であった。①は、独立小問5問で、平方根・因数分解・確率・作図は昨年度同様出題されており、二次方程式に代わって関数分野から出題されたが、比較的解きやすい問題であったといえる。②の関数は、座標を文字で表すパラメータの問題が例年同様に出現された。〔問1〕〔問2〕(1)は昨年度と比べ難度はさほど変わらないが、〔問2〕(2)はやや易化したと思われる。三角形の面積比が示された際に、それを問題に応じて底辺の長さや高さの比と置き換えて考えること、相似な図形に着目して対応する辺の比を利用することなどが求められた。③は円と直線の問題で、〔問1〕は易しく、〔問2〕(1)(2)は昨年度同様やや難度は高かった。十分な知識と基礎力が必要であり、証明等で手早く解答できるかどうかで差がつきやすい。④の空間図形は昨年度に比べ〔問3〕がやや難化した。〔問1〕から〔問3〕を通して、直線や平面の関係をきちんと理解し空間図形の中で利用できること、また必要に応じた空間図形の平面図への置き換え方について、図を描く作業を含めて習熟していることがポイントである。全体的な難度は昨年度から大きな変化はなく、グループ作成時から比べるとやや難化傾向である。②以降は受験生の学力差が正答率を分ける問題になっており、基本的な解法、公式の利用に習熟しつつ、いかに一つ一つの問題を手早く解けるかが合格の鍵となる。

国語 大問5題の構成は例年通りであり、設問数は漢字の読み書きが10問、他の設問が16問であった。①と②は漢字の知識量よりも、語彙力が問われる。「ハクランキョウキ(博覧強記)」が出題されたが、四字熟語は毎年出題されるのでしっかり準備をしておきたい。③の出典は伊与原新『アンモナイトの探し方』。中学受験を間近に控えた少年がアンモナイトの研究者である戸川という人物と出会って生き方を考える場面を描いている。設問は、選択式5問の他に、傍線部の登場人物の様子を60字以内で説明する記述式1問の合計6問である。④の出典は養老孟司『AI無能論』。AIが人間を超える未来は「人間の情報化」であるとし、そうした未来は人間が本当に求めるべき世界なのかという問題提起をした論説文である。設問は選択式が3問の他に、傍線部の具体例についての説明1問と、作文1問の合計5問である。作文は本文の内容読解と、それに該当する具体例の提示、および意見が求められる。⑤の出典は久保田淳『西行 長明 兼好 -草庵文学の系譜-』。本文では主に西行の歌に自身を詠みこむ態度を様々な実例を挙げながら論じている。設問は選択式が3問、記述式問題が2問。記述は「おぼつかない」という言葉の説明、和歌について空欄に当てはまる語句を本文から抜き出す問題であった。

▶ 2020 年度 大学合格実績

実績数値は現役・浪人の合計数。() の数字は現役合格者の数。

東京大 40名(25名)	東北大 11名(9名)	東京外語大 3名(3名)	早稲田大 167名(99名)	青山学院大 20名(17名)
京都大 1名(1名)	筑波大 14名(11名)	東京学芸大 2名(1名)	慶應義塾大 124名(84名)	立教大 36名(25名)
東京工業大 13名(9名)	千葉大 22名(18名)	東京農工大 4名(3名)	上智大 42名(26名)	中央大 48名(33名)
一橋大 18名(14名)	お茶の水女子大 3名(2名)	横浜国立大 15名(8名)	東京理科大 130名(71名)	法政大 31名(19名)
北海道大 6名(2名)	東京医科歯科大 8名(5名)		明治大 113名(74名)	
国公立大合計 214名(148名)				